

# 令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果について

## 1. 外部評価の目的

---

市で実施した内部評価の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しや次年度の取組み内容への反映を行う。

## 2. 評価対象及び実施方法

---

令和2年度に実施したまち・ひと・しごと創生寄附活用事業「映画を活用したシティプロモーション事業」について、市で実施した内部評価に対し、河内長野市行財政評価委員会が書面にて評価を行った。

## 3. 評価方法

---

市内部で行った評価資料に基づき、事業の目標及び数値目標（KPI）を達成するために評価年度に実施した要素事業が効果的であったかとの観点で検証を行い、「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

## 4. 評価結果

---

別紙「令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果」のとおり

# 令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

## ■事業の概要

<b>事業名称</b>	<b>河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業</b>
<b>要素事業</b>	<b>映画を活用したシティプロモーション事業</b>
<b>事業の目標・概要</b>	<p>劇場用長編映画「鬼ガール!!」が民間主導により製作が進められていることから、市としてもこの機会を逃すことなく連携してシティプロモーションを行い、本市への愛着や誇りを醸成することにより、市民の定住促進及び域内消費の拡大を図る。</p> <p>また、同映画の広告宣伝にあわせて、市外からの本市の認知度向上やイメージアップを図ることにより、移住促進及び観光客の誘致につなげる。</p>
<b>令和2年度実施事業内容</b>	<p>映画「鬼ガール!!」と連動して、市条例「河内長野市鬼でまちおこし条例」を制定し、市を挙げたシティプロモーションを実施するとともに、映画のプロモーション等の機会も活用してイベント、メディア展開を実施しました。実施事項は以下のとおり。</p> <p>(1) 本市のPR</p> <p>①市条例「河内長野市鬼でまちおこし条例」の制定 ②イベント等によるPR ③メディア等を利用したPR ④WEB等でのPR ⑤その他</p> <p>(2) (1)に付随して必要となる物品の作成 上記において必要となるチラシ・パンフレット・コンテンツ等の作成しました。</p> <p>※上記は、主に「奥河内ムービー・プロジェクト実行委員会」への委託により実施しました。 ※企業版ふるさと納税のみを財源とし、市の一般財源からは一切支出しないという本事業の性質上、実施内容については寄附者と十分に調整し、寄附者の意向を最大限反映したうえで、かつ市として最大限の効果が得られる内容を検討し、実施しました。</p>

## ■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
<b>③効果があった</b>	<p>民間予算で実施されている映画制作と連動し、かつ全財源を企業版ふるさと納税による歳入により賄ったことにより、市の一般財源から一切支出せずとも映画出演者やスタッフの協力を得ることができ、かつ映画の劇場公開との相乗効果を最大限発揮できる事業内容とできたことで、市関連事業としてはかつてないほどの拡散力を持った市のPRとなった。</p> <p>特に、条例制定や映画公開記念イベントとの連携はメディア等からの注目も高く、NHKをはじめとするメディアでも特集され、河内長野市や「奥河内」の名称、市内のスポットなどが再三公共の電波で放送され、市内はもちろん、市外の多くの方々にも届く発信となった。</p> <p>さらに、これらの動きにより市内事業者等でも映画と連携して地域を活性化しようという機運が醸成され、映画と関連したメニュー、商品の開発や企画が行われるなど、民間の自主的な地域活性化の取り組みを喚起することにも繋がるなど、非常に大きな効果を得た。</p> <p>一方で、これらの動きがKPIの達成に直接的に寄与するには至っていないため、左記の評価とした。</p>

※1：評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

## ■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
<b>概ね妥当</b>	<p>○行政自らの評価が妥当と思う。むしろ、今回の映画を出発点として、ハード、ソフト、ヒューマンにわたる立体的な戦略を構築して欲しい。</p> <p>○設定されたKPIは現在河内長野市に居住する市民の意識に関するものであり、一方、今回の、映画を活用したシティプロモーション事業は多くが他市の居住者による市に関する認知をはかる等、市外での影響が大きい性質を有する。そのため、KPIで数値の増加がないのは奇妙なことではない。事業の概要では、丁寧な思考にもとづき非常に多様な取組の展開につなげられており、またその成果も、参考指標を見るに、十分なものがあつたことを適切にアピールできている。今後は、当該事業を行なううえで、市内のさまざまな事業者や諸団体が協働されたのであり、こうした協働から生まれた関係者間の関係性をどう評価し、それを(映画に限らず)広くどう活かしていけるのかを検討すべきと思う。</p>
<b>評価内訳</b>	
①妥当 2	<p>○各種の媒体に河内長野市の風景やものが登場することは、今日、市のPRに非常に効果があるが、課題として捉えられている通り、関心を維持できるかどうか重要である。この事業に関してはある程度の効果があつたと思えるが、今後、地道な活動も必要だろう。</p> <p>○市の知名度UPには貢献したと思われるが、市民からの愛着度を増すことまでは、賛同を得ることが出来なかったのではないかと。</p> <p>○河内長野市をPRし、市民への注目を集めることができた。今後、継続事業として、いろんな市のPRが期待できる。</p>
②概ね妥当 3	
③要検討 0	

※2：取組事業が事業の目標・KPI達成するために、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」